

◀ 演題登録をされる方へ ▶

- システムより配信されるメールがスパムメールと認識され、確認メールが受信できない現象が発生しております。確認メールが届かない場合は、確認・修正画面よりログインいただき、演題の登録が行われていることを確認してください。
- 当システムでは、JIS第1水準・第2水準に規定されている文字のみ登録可能です。詳細につきましては[演題登録時の注意](#)をご参照ください。
- 当システムでは、以下のブラウザの最新バージョンで動作確認を行っております。ブラウザのバージョンを最新にご利用ください。
Firefox・Google Chrome・Internet Explorer・Microsoft Edge・Safari

UMIN 第60回日本消化器がん検診学会総会 演題登録

発表分類 (必須) :

主題演題「シンポジウム、パネルディスカッション、特別企画」および「一般演題」、「放射線フォーラム」、「超音波フォーラム」、「附置研究会」から選択してください。

(一般演題の発表形式は口演のみとなります。)

選択してください

- 01主題演題：シンポジウム「上部消化管全体の悪性腫瘍スクリーニングをめざして」（公募）
 02主題演題：パネルディスカッション①「胃がん検診の適正な受診間隔と受診勧奨のあり方とは」（公募）
 03主題演題：パネルディスカッション②「内視鏡による対策型大腸がん検診を実現するための課題」（公募）
 04主題演題：特別企画①「検診・精密動画から撮影・読影技術を学んでみよう」（指定）
 05主題演題：特別企画②「新しい検診様式」（公募、一部指定）
 06一般演題：「食道・胃」（公募）
 07一般演題：「腸」（公募）
 08一般演題：「肝・胆・膵」（公募）
 09一般演題：「その他」（公募）
 10超音波フォーラム：「超音波検診判定マニュアル2021を活用する」（指定）
 11超音波フォーラム：「症例検討セッション」（指定）
 12放射線フォーラム：「読影補助のエビデンスに向けて—現状の課題と今後の普及を目指して」
 13附置研究会①大腸がん検診精度管理検討研究会：「大腸内視鏡検診の精度管理評価指標」（公募、一部指定）
 14附置研究会②胃がんリスク評価に関する研究会：「既除菌者（E群）の囲い込みは可能か」（公募、一部指定）
 15附置研究会③胃X線検診のための読影判定区分の運用・評価に関する研究会：「胃X線検査による胃炎診断の問題点」（公募）
 16附置研究会④対策型胃がん内視鏡検診研究会：「対策型胃内視鏡検診におけるピロリ感染診断の意義と目的」（指定）

主題演題に不採用の場合は一般演題での発表を希望するか否か選択してください。(主題演題(シンポジウム、パネルディスカッション、特別企画)を選択した方は必須) :

選択しない ▼

筆頭著者の氏名(日本語表記) (必須) :

姓(例) 予防 名(例) 太郎

筆頭著者の氏名(ふりがな) (必須) :

姓(例) よぼう 名(例) たろう

筆頭著者の会員番号（必須）：

（例）123456、申請中のときは99999

1)筆頭著者の所属機関名（必須）：

（例）〇〇大学 〇〇医学講座 のように途中に全角1ますを入れてください
「医療法人」や「公益財団法人」等も略さず正式名称をご入力ください

筆頭著者の所属機関番号 1 2 3 4 5

筆頭著者の所属機関住所の郵便番号（必須）：

（例）123-4567

郵便番号の検索 [クリックしてもウィンドウが現れない場合はこちらをクリック](#)

筆頭著者の所属機関住所（必須）：

（例）東京都文京区関口1-19-2

都道府県を選択してください▼

筆頭著者の電話番号（必須）：

（例）03-1234-5678 ※必ずハイフン「-」で区切ってください

上記の内線番号：

筆頭著者のFAX番号：

（例）03-1234-5678 ※必ずハイフン「-」で区切ってください

筆頭著者の電子メールアドレス（必須）：

筆頭著者の電子メールアドレス（確認用）（必須）：

著者の所属機関が複数にまたがるときは以下に記入してください。所属機関名 2)から 5)の記入方法は、所属機関 1)と同じです。共著者の氏名の記入の仕方も、筆頭著者の記入欄と同じです。

主題演題は筆頭著者を含め3名以下に限ります。また、一般演題は筆頭著者を含め3名以上で申し込むことが可能ですが、最大21名までとなります。

2)所属機関名（日本語表記）

3)所属機関名（日本語表記）

4)所属機関名（日本語表記）

5)所属機関名（日本語表記）

共著者2

姓 名

日本語 ひらがな 会員番号 所属機関番号 1 2 3 4 5

共著者3

姓 名

日本語 ひらがな 会員番号 所属機関番号 1 2 3 4 5

共著者4

姓 名

日本語 ひらがな 会員番号 所属機関番号 1 2 3 4 5

共著者5

姓 名

日本語 ひらがな 会員番号 所属機関番号 1 2 3 4 5

共著者6

姓 名

日本語 ひらがな 会員番号 所属機関番号 1 2 3 4 5

共著者7

姓 名

日本語 ひらがな 会員番号 所属機関番号 1 2 3 4 5

共著者8

姓 名

日本語 ひらがな 会員番号 所属機関番号 1 2 3 4 5

共著者9

姓 名

日本語 ひらがな 会員番号 所属機関番号 1 2 3 4 5

共著者10

姓 名

日本語 ひらがな 会員番号 所属機関番号 1 2 3 4 5

演題名 (必須) :

(例) 胃集検での精密検査結果の検討

本文 (必須)

抄録本文は、まず最初にご自身のワードプロセッサで作成し、コピー機能を使って下段の抄録本文用枠内にペーストすることをお奨めします。

以下の記号を用いるときは、この欄でコピーして抄録本文内の必要個所にペーストすることで、より正確な抄録を作成することができます。

また、<I></I><U></U>
は必ず半角文字を使用してください。

ここは、抄録を書く欄ではありません。

【目的】【対象または方法】【成績または結果】【】 <(全角) >(全角)

 <I></I> <U></U>
 →←↑↓

%‰ A + - ± × ÷ = ≠ ≡ ≅ ≤ ≥ ∞ ∞ ∞ ⊆ ⊃ ⊂ ⊃ ∩ ∪ ∩ ∪ ∩ ∪
 α β γ δ ε ζ η θ ι κ λ μ ν ξ ο π ρ σ τ υ φ χ ψ ω ~ °
 Α Β Γ Δ Ε Ζ Η Θ Ι Κ Λ Μ Ν Ξ Ο Π Ρ Σ Τ Υ Φ Χ Ψ Ω

上付き文字が必要なときは、文字の前後を^とで囲ってください。

(例) Na⁺ は Na⁺ となります。

下付き文字が必要なときは、文字の前後を_とで囲ってください。

(例) H₂O は H₂O となります。

イタリック文字が必要なときは、文字の前後を<I>と</I>で囲ってください。

(例) <I>c-fos</I> は c-fos となります。

太文字が必要なときは、文字の前後をとで囲ってください。

(例) 太文字 は **太文字** となります。

アンダーラインが必要なときは、文字の前後を<U>と</U>で囲ってください。

(例) <U>アンダーライン</U> は アンダーライン となります。

抄録本文内で改行を入れたいところには、改行したい文の頭に
を記入してください。

上記の記号との混乱を防ぐため、抄録本文内で<および>の記号を使うときは（たとえばp<0.05、CO> 2.2が挙げられます）、必ず全角の<および>を使ってください。

(例) ×p<0.05 ○p<0.05

下の枠が**抄録本文（タイトル、所属機関名、著者名は除く）**を記入する欄です。先頭行は1ますあけずに左詰めで記入してください。

ブラウザによって、下の抄録本文の枠が、極端に横長になる場合があります。本文の作成に不便な場合は本文の途中で適宜改行指定を入れても結構です。

改行指定は、登録の際自動的に削除されますので、そのまま残しておいてください。

抄録本文

制限文字数は700文字になります。この字数を超えると登録できません。

発表の際特別な配慮を必要としていますか（例：車椅子のご利用等）：

- はい
いいえ

詳細：

緊急連絡用電話番号（**一般演題を選択した方は必須**）：

総会中にご連絡が可能な番号（携帯番号等）をご入力ください。

(例) 090-0000-0000 ※必ずハイフン「-」で区切ってください

JS G C S演題登録時Medical ethics申請 (2021年)

日本消化器がん検診学会では、文部科学省、厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」ならびに「臨床研究法」をはじめとする、臨床研究に関連する規制に基づき、研究実施に関する倫理審査委員会等の審査状況について確認を行います。発表内容について、設問1～2で該当する項目をそれぞれひとつご選択下さい。 ※演題応募に際しては、倫理審査が必要な発表は、必ず所属施設または関連の大学病院・医師会等の倫理審査制度を利用し承認を得たうえで演題登録を行って下さい。尚、日本消化器がん検診学会では倫理審査委員会が設置されていない施設で、自施設のみで実施する観察研究については倫理審査を受け付けています。 (<http://www.jsgcds.or.jp/about/rinrishinsa/tetsuzuki>)

※本チェックリストは応募者に臨床医学研究を行う上で、順守すべき倫理指針を再認識していただくことを目的としています。選択された内容について、査読委員から異議があった際は再確認させていただき、倫理的に問題があると判定された場合は、不採用となりますのでご注意ください。

・発表内容がどの項目に該当するかについては、応募画面にリンクされているフローチャート、Q&A、本学会倫理指針をご確認下さい。

・倫理審査の不要な研究（カテゴリーA）については応募画面にリンクされている具体例をご確認下さい。カテゴリーAの研究以外は、全て倫理審査が必要となります。

◆設問1：研究内容について（いずれかひとつの項目にチェック）**○ A：以下に当てはまる研究（当てはまる場合はいずれかにチェック：複数回答可）**

9例以下をまとめた研究性のない症例報告。

傷病の成因・病態の理解，傷病の予防・診断・治療方法の改善，有効性・安全性の検証を通じて，人の健康の保持増進または傷病からの回復・生活の質の向上に資する知識を得ることを目的としない報告等
※。

※（例）：①単に治療方法の紹介，教育・トレーニング方法の紹介
②施設の医療体制や受診率向上の取り組みに関する紹介

論文や公開されているデータベース，ガイドラインのみを用いた研究。

既に学術的な価値が定まり，研究用として広く利用され，かつ，一般に入手可能な試料・情報を用いた研究。

既に匿名化されている試料・情報（特定の個人を識別できない状態に加工され，自他問わず対応表がどこにも存在しないもの）を用いた研究。但し，体細胞由来のゲノムデータ解析は除く。

既に作成されている匿名加工情報または非識別加工情報を用いた研究。

法令に基づく研究（臨床研究法，再生医療等安全性確保法は除く）。

人体から分離した細菌，カビ，ウイルス等の微生物の分析等を行うのみで，人の健康に関する事象を研究の対象としない研究。

動物実験や一般に入手可能な細胞（iPS細胞，組織幹細胞を含む）を用いた基礎的研究。

海外で実施された研究（研究対象となった試料・情報が日本のものは除く）。但し，実施した国の規定は遵守していることが必要。

○ B1：既存の試料・情報を用いる観察研究。

・通常診療の情報（すでに実施されたレントゲン・内視鏡・US検査などの画像所見を含む）や診療で採取された生体試料の余剰分を用いるもの等、通常の診療行為（判断）に何ら影響を与えることが無ければ、前向き後ろ向きを問わない。

研究目的で新たに情報のみを取得する観察研究であって、侵襲を伴わない研究。

・心電図、体表US検査、心的侵襲のないアンケートを実施するものが含まれる。

○ **B2：研究目的で新たに情報を取得する際に侵襲または軽微な侵襲を伴う観察研究。**

・通常の診療行為（判断）に何ら影響を与えないが、研究目的にX線撮影、CT等を実施する研究が含まれる。

研究目的で新たに情報に加えて試料を取得する観察研究。

・通常の診療行為（判断）に何ら影響を与えないが、研究目的にCT、採血（通常診療に加えて量を追加する場合も含む）、組織採取等を追加する侵襲あるいは軽微な侵襲を伴うものと、排泄物の採取など侵襲を伴わないものがある。

○ **C：「臨床研究法」の適用されない介入研究。**

・体外診断薬を用いた介入研究、医療手技や手術方法の評価を行う研究が含まれる。

○ **D1：特定臨床研究以外の臨床研究（「臨床研究法」の遵守努力義務の対象となる研究）。**

・既承認の医薬品・医療機器等を用いてそれらの有効性・安全性を評価する介入研究で、関連する企業から資金提供が無い研究が該当する。

○ **D2：特定臨床研究（「臨床研究法」の遵守義務の対象となる研究）。**

・未承認・適応外の医薬品・医療機器等を用いる研究、または企業から資金提供を受ける介入研究が該当する。

○ **E：以下に当てはまる研究。**

・再生医療等安全性確保法に該当する研究。
・ヒトの遺伝子治療に関する研究。

◆設問2：

設問1でB1, B2, C, D1, D2, Eにチェックをされた研究は、各研究が適用される規制に基づく委員会の審査が必要となります。

審査を受けていない場合は応募できませんので、各研究に必要な審査については以下のサイトをご確認下さい（応募画面にリンクがあります）。

- ・ J S G C S 倫理指針、フローチャート、研究の種類と必要な手続きの詳細はこちら
<http://www.jsgcs.or.jp/about/rinrishinsa/index>
- ・ J S G C S 倫理指針Q&A
http://jsgcs.or.jp/about/rinrishinsa/rinri_faq
- ・ 倫理審査の不要な研究（カテゴリーA）についての具体例
<https://www.jsgcs.or.jp/about/rinrishinsa/categorya>

必要な審査を受け、承認を得ている。

※上記の倫理に関する内容は、今後国の法律・法令・指針変更に伴い改定を行う可能性があります（2020年9月現在）。

※本指針は、日本腹部救急医学会ならびに日本消化器内視鏡学会の倫理指針を元に作成しています。

利益相反状態の申告(必須)：

[「利益相反 \(COI\) の開示について」](#)を参照後、利益相反状態を選択してください。

筆頭著者は、共著者を含め自己申告が必要な事項と基準額の1～9の

○すべてに該当しません ○いずれかに該当します

※「いずれかに該当する」にチェックをした方は[COI申告書フォーム（様式1）](#)の提出が必要です。

※総会の運営事務局に提出してください。

登録した自分の抄録を参照・更新するためのパスワード（半角英数文字6～8文字）（必須）：

次に進む

登録作業を続けます。また、このボタンで、抄録タイトルおよび抄録本文の現在の文字数を確認することができます。

お問い合わせの前に [よくある質問とその回答集](#) をご覧ください。

この 第60回日本消化器がん検診学会総会 演題登録 に関するお問い合わせは、 [学会事務局 jsgcs60@keiso-comm.com](mailto:jsgcs60@keiso-comm.com) へお願い致します。

UMIN

Click here to use **ELBIS Online Retrieval System**
ELBIS - Electronic Library for Biomedical Sciences